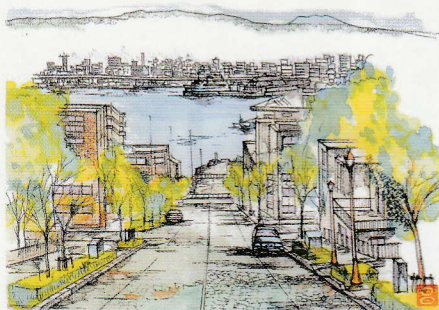


2020年度  
(令和2年度)

# 柏ヶ丘

函工同窓会報 第71号



《発行日》

令和3年2月28日

《発行所》

北海道函館工業高等学校

函工同窓会本部事務局

〒041-0844

函館市川原町5番13号

TEL 0138-51-2271

## 創立110周年へ向けてご協力を

函工同窓会長 野寺正樹



同窓会会員の皆様、新しい年を迎え、ご健勝で過ごしの事とお慶び申し上げます。

昨年2月初旬頃から、中国・武漢から発生した「新型コロナウイルス」問題で、世界的に「感染拡大」が進み、我が国内においても感染者増加と共に「経済活動」に大きく影響し、今や過去に経験した事のない、見えない敵との戦いや、その対応に苦慮している所であります。ただこの記事が出る令和3年には「コロナ終息」で世の中が落ち着きを取り戻している事を願うばかりであります。

改めてご挨拶させて頂きますが、そんな時に、大日向同窓会長よりバトンを引き継ぎ、新会長を務めることになりました、工芸昭和47年卒業の野寺正樹と申します。(ちなみに、息子二人も函工同窓生であり、親子二代での函工信者であります)私は基より、「浅学非才」しかも歴代会長のような立派な肩書もなく誠に恐縮千万であります。副会長皆様からのご推挙により1期2年間を皆様からの絶大なご協力を頂きながら母校「函工」のために「全身全霊」努めて参りたいと存じますので、多大なるご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

また、この「新型コロナウイルス」の影響により、全国各地の会議やイベントがほぼ中止を余儀される

中、我が同窓会の昨年の通常総会も、その影響を受けて他と同様に自粛し、中止とさせて頂きました。本来であれば、総会の時に皆様に直接ご挨拶する所ではあります。それが叶わず、誠に残念で申し訳なく思っております。(常任理事会を総会の代替えと致しました)

さて、同窓会も年を追って「高齢化」が進み、本部活動はさることながら各支部活動も停滞や休止状態のところもあり、少しでも若い方々の参加促進が急務の今日であります。そんな中、母校函工の「創立110周年記念事業」についての「協賛会設立」を、昨年6月に学校・PTA(全・定)・同窓会3者で設立致しました。

そこで、本年10月16日(土)に「記念式典・講演」と「記念祝賀会」等を開催する予定で、検討をしている所で御座います。また、事業に掛かる費用約900万円(生徒会・部活への物品の贈呈約430万円相当を含む)を皆様からのご理解とご協力を得て「協賛寄付金」として、昨年11月から募集を開始した所です。また、個人、企業へお願いを各科及び各支部会を通じて、募集希望金額も提示しお願いしている所です。何卒絶大なご支援ご協力を心より深くお願い申し上げます。

思い起こせば、9年前のあの「創立100周年」の盛大な式典・祝賀会から、早10年が経過しようとしており「光陰矢の如し」が真に実感されます。時節柄何かと厳しさの増す今日この頃ですが、皆様方にはご健勝で10月の「創立110周年記念祝賀会」でお会い出来ます事を心より祈念申し上げます。会報発刊のご挨拶とお願いとさせて頂きます。

今後とも、宜しくお願い致します。

## 北海道函館工業高等学校創立110周年事業

### 記念行事・記念式典

令和3年10月16日(土) 13時30分(受付12時より)  
於 北海道函館工業高等学校体育館

### 記念祝賀会

令和3年10月16日(土) 17時(受付16時より) 開催予定  
於 函館ロイヤルホテル

※新型コロナウイルスの感染状況等により中止または変更となる場合も考えられます。決定次第、学校ホームページ等に掲載致しますのでご確認ください。

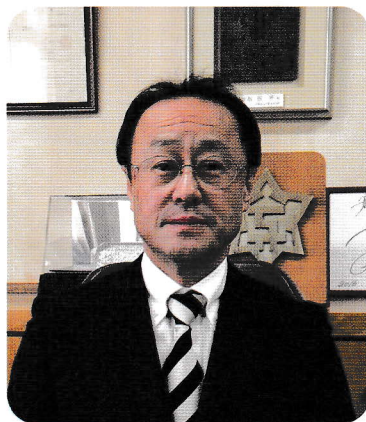
※創立110周年事業協賛会募金趣意書のとおりご検討をよろしくお願いします。



# 「伝統の力で創る新未来」

北海道函館工業高等学校長

小幡 圭二



函工同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動へご支援とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため同窓会総会が中止となり、皆様へ直接ご支援ご協力のお礼のご挨拶ができず、大変残念に思っております。このコロナ禍でも皆様の母校への思いと固い絆は変わることがなく、歴史と伝統を誇る名門「函工」を、あらためて誇りに感じております。

北海道の工業高校で一番の歴史と伝統を誇る本校の卒業生は、令和元年度までで全日制・定時制課程を併せて36、392名を数え、地域はもとより全道、全国で様々に活躍しております。これからも、卒業生の皆様が築き上げた歴史と伝統を継承しつつ、更なる発展に向けて教職員が心を合わせて精一杯努力する所存です。

昭和3年、函館商工実修学校に設置され、その後、昭和24年に函館工業高等学校夜間部となった、91年の歴史を誇る定時制課程電気科は、残念ながら昨年度をもって閉科となりました。

電気科の閉科式典に際しましては、同窓会の皆様からご支援ご協力をいただき、大変有り難うございました。

また、昭和25年度に設置された電気科と、電子工業科、電子科を経て平成8年度に設置された情報技術科が統合され、4月から新たに「電気情報工学科」がスタートしました。

新学科の出願倍率は2・1倍と、全道の公立高校の中で最も高く、期待の大きさを感じております。今後はその期待に応えるべく、技術革新に対応して新たな価値を創造する「ものづくり」の学びを目指し、魅力ある学科となるよう教育活動を推進して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

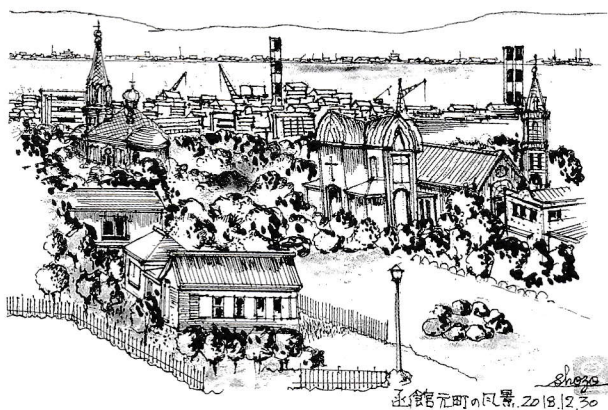
今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校祭や陸上競技大会、部活動の各種大会などが中止となり、資格試験の機会が減るなど、函工生が輝く場が失われたことが大変残念でなりません。

このコロナ禍で教育活動が様々に制約される中ですが、全国の工業科高校476校の上位30校に選ばれた「ジュニアマイスター学校表彰」を始め、全日制では、インターハイ代替大会の全国高等学校陸上競技大会走り幅跳びに男女とも出場し

男子4位入賞、全国の工業科高校から1名が選ばれる「経済産業大臣表彰」、北海道高校新聞コンクール優秀賞、定時制では、難関の甲種危険物取扱者に2名が合格するなど、全日制・定時制課程ともに函工生は一生懸命頑張り、成果をあげております。

令和元年度の進路状況は、就職は全日制64・5%（道内40、管内50、道外55、公務員6）、定時制81・8%（管内8、道外1）、進学では全日制32・5%（大学29、短大専4、専門学校43）、定時制9・1%（大学1）で、求人数が1900社を越えました。

今年度はコロナ禍で全国的に高校生の求人数が減る中ですが、本校へいただいた求人は1700社（12月現在）に迫っており、卒業生の皆様の活躍と函工がこれまで積み上げた実績を感じております。



さて、社会の変化が激しく先行きの不透明な時代はこれからも続きますが、このような時代だからこそ、校訓「自主創造」という本校教育の指針どおり、自ら求めて意欲的に学び、旺盛な知識欲を持って未知の世界に挑む気概と新たな価値を創造する力が求められるのだと考えています。

函工での「ものづくり」とおとした体験的、実践的な学びは、思考力、判断力、粘り強く頑張る力など、新たな価値を創造するために必要となる力を育てています。

来年は、創立110年の節目の年になります。この10年で、100周年のテーマである「伝統の力で創る新未来」のとおり、これまで築いた確固たる伝統に新たな伝統を積み重ねながら、函工の新しい未来を創り出しているのではないかと考えています。

これからも、地域や社会の期待に応える工業高校として、教職員が一丸となり、「函工」の歴史と伝統を継承しつつ時代に即応した工業教育を実践し、「確かな技術・技能」「豊かな人間性」を備えた人材育成と、魅力ある函館工業高校の教育活動を推進して参ります。

同窓生の皆様には、引き続き函館工業高校へのご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、函工同窓会の皆様のご健勝と、同窓会の益々の発展を心からお祈り申し上げます。



## 機械・電子機械科

### 機械科理事会報告

令和2年10月10日(土)、ロイヤルホテル1階の「きたまえ船」で、機械科の理事会が行われた。出席者は科会長のS51卒黒島さん、S48卒杉本さん、S49卒高橋さん、S57卒大坂さん、S57卒北林さん、山田さん、本校よりH5卒藤川先生、H14卒川村先生と筆者S51卒近藤でした。2021年10月16日に行われる予定の函工創立110周年記念事業協賛会に関する話題が取り上げられ、当日の内容、特別講演候補など藤川先生から報告された。その後、主な議題は6月26日の設立総会が行われた際に決められた、機械科に対する協賛寄付金の分担であった。寄付金は全体で500万円募集する、そのうち、機械科は100万円を分担する。企業一口10、000円、個人3、000円と報告され、寄付金収集の分担を理事に振り分けられた。その際、領収書の書き方や企業への依頼文書には、寄付金の使い道について記入すべきと指摘された。同窓生に対してのみ送ることとなり、また、企業に依頼する際に訪問し挨拶に使用する名刺を理事一人ひとりにも作成されることが決められた。この件について、協賛金収集計画(予定企業および予定者氏名、予定金額など)の途中経過の確認日を決めた。

また、別件として、同窓会誌のページ数減少について、その経緯について報告があり、経費削減およびそれに担当され

る本校先生の負担軽減(筆者の私見)も理由としてあげられた。その一方で各科が掲載できる記事がA4半ページ程度確保できることも伝えられた。またそれに関して、いままでの広告料を頂いてきた同窓生企業に対して、その依頼を廃止する文書を送付したことを伝え、納得してもらった。

一時間ぐらいで理事会が行われたのち、会場である「きたまえ船」の料理を食べながら、同窓会祝宴が開始となりました。祝宴では、同窓生の動向などが話題となり、またコロナ禍での企業経営の状況、市内のホテル経営者の交代などその厳しい状況について話題となった。お酒が回るにつれて、理事であることも忘れ、だれとだれが親戚だとか、ただの「よっぱ



らいの会」に終始しました。  
(S51機械科卒 近藤 司/記)

## 建築科

### 建築科交流会を終えて

令和2年10月17日、「ホテルテトラ」にて毎年恒例の建築科交流会が開催されました。

今年は、コロナ禍だったこともあり、春には経験しているはずの顔合わせや挨拶・名刺交換が初めてでした。歳の近い友人が同級生1人しかいないこともあり緊張していましたが、いざ交流会が始まると先輩方から気さくに話しかけに来て



くださり、たくさんの方々とお話することができました。

最後の挨拶には私が指名を受け、あまり人前で話すのが得意ではなかったのですが、そわそわしていました。ステージの上におかけの際、先輩方に応援をいただけたことができました。交流会が終わった後、数名の方々に「挨拶とてもよかったよ」と言っていたいただき少しほっとしたと同時に、とてもうれしく感じました。

今回は去年と比べて参加者が約半数ほどしかいませんでしたが、来年はもっと大勢で集まり交流できたらいいなと思いました。

(R2建築科卒 中谷 空/記)

## 化学科

### 「化学の窓スヘリベホ」

### —私の履歴書— 社会人へのスタートから

退職後、函館に居を構えて自営を営んでいる。社会人スタート開始から現在までを振り返ってみたい。これまでの職場経験が、今は、非常に役に立っていると感じている。

昭和46年3月、苫小牧の某製紙工場に採用され、社会人のスタートを切った。クラスからは、他に荒木武己・境正記・山内祐治の3人も採用された。

担任の柳下先生談「製紙会社1社への4人の採用は厳しい。松橋は他を検討」とのアドバイスがあった。運よく採用さ



れ現業部門へ配属された。

そこでは仕事の基礎である、「整理・整頓・清掃」を教わった。取捨選択を行い、保管場所を決めたら、使用後は常にその場所に保管する。そして職場は常に清掃する。書類整理にも役立ち。

数年後、東京本社で電算部門に転勤となり、コンピュータに接する機会を得た。PCの操作、適用業務の運用を、仕事とはいえ勉強できた。

加えて、簿記の仕分け基礎、健康保険料の納付は、診療費支払の三割負担、厚生年金保険料納付は、厚生年金受給の基礎要件、雇用保険の納付は、退職後の失業保険受給にそれぞれつながった。さらに営業部門への異動の機会があり、お客との商談の中で、目配り・気配り・心配りを学んだ。

会社からの給与を得て、いろいろな事項を学ぶ事が出来たと今は感謝している。

### 【化学科会同窓会との係りは】

函館へ転居後、在学当時の実験担当だった荻宿先生（S29年卒）宅を訪問し、お世話になった御礼と近況を報告した。

その後荻宿さんから、化学同窓会の事務局会議参加へのお誘いを受けて、何も分らずに陪席したことから係りを得た。当時の化学科会会長は、林和夫さん（S29年卒）で事務局は、今義一さん（S40年卒）、林さんを中心に100周年記念事業の推進の為に化学会は、活発に活動していたと記憶している。小生は、金魚のウンチ状態だった。

そして、会長は今さんに、事務局は小生となる新体制に。ここでは、数年に一

度の輪番で当たる本会総会の運営当番になった。今さんを中心にして、余興も含めて色々なアイデアが出されたことを思い出す。

平成30年からは、北條譲（S38年卒）新会長の下で、会計監査中西直一さん（S41年卒）、会報表紙担当（美術）浜田昌夫さん（S29年卒）その他和智保美さん（S44年卒）他とで会を運営していて、今年、令和3年度の110周年記念事業開催に向け、北條会長を先頭にして準備作業に邁進している。

### ●化学科会総会・懇親会の事

当総会・懇親会は、化学科の単独開催と本会総会開催日の同日に開催する総会の2つの形態を、隔年で実施している。本会同窓会の運営員（同窓会会長その他理事等）の、2年毎の改選がある時には、化学科単独での総会・懇親会を開催している。

令和2年度は、5月に化学科単独開催の年だったが、本会総会の延期中止を受けて、化学も中止とした。時節柄ではありますが、残念だった。

令和3年度の本会総会は、6月開催の計画で（規約上）、化学科会総会は、本会と同じ日に開催する予定です。

少しの縁を感じながら、それを大事にしながら、もう少し歩いて行こうと考えている。

化学のOBで、化学科会への運営に興味がある方は、ご連絡を。

0138-48-8227（松橋宛）

（S46化学科卒 松橋 敬／記）

## 工芸・インテリア科

### 「子供達の夢と笑顔に」

卒業後、早半世紀にもなろうとしています。いつのまに……。

あつという間の人生を……。あとは自然消化していくだけ?! なんて事を思っていたら、世の中に取り残されていくような気がしていました。

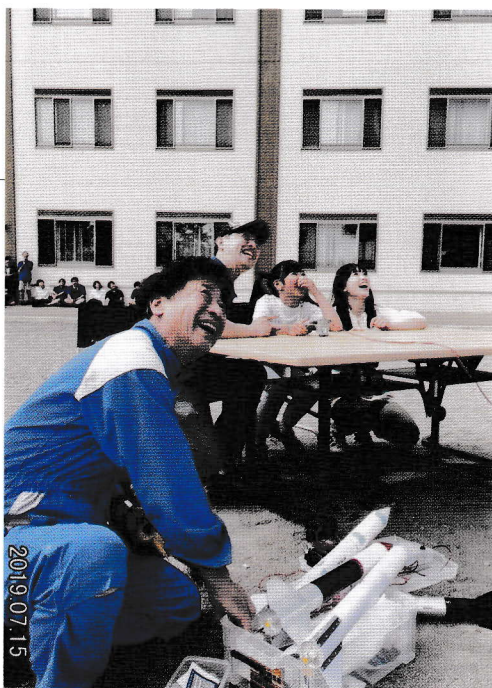
そんな時、微力ながら後世に何かを伝えていけるような事があればと思いきや……! 長年携わって来た知識や技術を「将来を担う子供達のために」何か役に立つことがあるのでは? と、思いもよらない発想をし、現実に活躍している人が存在していました。

昭和48年機械科卒の、我同期であります中村 均君。

彼は「マリノロケット研究会」と称す活動を二年以上も続けており、最近では同級生も賛同し、徐々にその輪が広がってきています。私もその仲間に入りたいだき、楽しませてもらっています。

材料はペーパークラフトで、子供達にも手軽に作れる物ではありますが、なんと! 水陸両用のロケットなのです。

その活動は、再三新聞等でも大きく取り上げられ近隣の保育園、障がいのある方の施設等からオファーがあり、年に数



回訪問しています。

これからも子供達のロケットが空高く上がった時の、あの歓声を思い出しながら、宇宙への夢を、一緒に共有していきたいと願っています。

（S48インテリア科卒 木下洋子／記）

## 土木・環境土木科

### 現状への想い

伝統ある、我が、函館工業高等学校土木科会（土木科・環境土木科）令和2年度総会は、全世界的な伝染病として蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響により残念ながら中止としました。

コロナ禍は様々な社会変化をもたらした私たちの暮らしを大きく変えてしまいました。

まさに、社会全体の仕組みが変わる、というレベルの大きな変化が始まりました。



緊急事態宣言が発令され、感染拡大を防ぐために、不要不急の外出を控えるようになりました。

ソーシャルディスタンスという言葉が社会に広く浸透されてきました。一定以上の距離が保たれることで3密（密閉・密集・密接）の状況を避け、さらには、クラスターの発生を防ごうというものです。現在は少しずつ日常が戻り始めてきました。

建設業界においても様々な取り組みが報告されています。

土木の仕事は、道路を造り、橋を架け、鉄道を敷き、港を造り、空港を造り、河川を整備し、ダムを造り、人々が便利で安全な暮らしができるようにするものを作ることです。

また、台風、地震などの自然災害の応急対策、それによる被害の復旧や備えを官民一体となって進めることが大切であると考えます。

地方の発展のためのインフラが整備されると地図は更新されます。それが地図に残る仕事といわれる所以でしょう。

土木は男で正しい・汚い・危険の仕事という決して良いとは言えないイメージでしたが、全て手作業で行っていた力仕事も機械や道具が進歩して先端技術（AI・IT・ロボットなど）による業務効率化などが始まりました。

近年、環境土木科の卒業生に女性が増えるようになり、女性の土木技術者も見かけるようになりました。

そのような人たちを、土木女子（ドボジョ）というそうです。

その土木女子（ドボジョ）が同窓会に

来てくれました。

土木技術者女性の会という全国組織があり土木女子の活躍が期待されています。

土木の仕事は働き方改革の推進、先進技術の活用、女性土木技術者の活躍などにより多くの課題を克服しながら進化し続けることでしょう。

土木科会は若手技術者や土木女子が参加しやすい環境づくりと運営に工夫を凝らしていきたいと思っています。

また、今後の社会情勢についてはどのように変化するのは不透明ですが、毎年7月第1週土曜日とされている次の総会は、令和3年7月3日（土）ホテルトラにて開催の予定です。

いつものように多くの皆様の参加をお待ちしております。

令和3年10月16日（土）には北海道函館工業高等学校創立110周年式典がありますのでご支援ご協力をお願いいたします。

（S54土木科卒 川村宏人／記）

## 函工クイズ QUIZ?

2016年8月4日、函工グラウンドにある動物が侵入し大きなニュースになりました。その動物は何でしょう？

A. ヒグマ B. エゾシカ C. イノシシ

2 最終的にこの動物はどうやって捕獲されたでしょう？

A. 逃げ回ったあげく疲れてうずくまったところを捕獲された  
B. 棒で殴って気絶させて捕獲した  
C. 自らサッカーゴールに飛び込み、ゴールネットに絡まり捕獲された

## 冶金科

### 昭和43年卒業クラス会

私共のクラス会は、函館工業高校卒業後2回目のクラス会が平成29年の7月に湯川観光ホテルで実施されました。

1回目のクラス会は卒業後10年ごろに開催され、20名ほどが出席されたこと記憶していますが今回のクラス会は卒業してから49年が経過しており、何人が出席できるか胸を膨らませ、知っていた住所宛37名（44名卒業）に案内を出した結果、宛先不明で13件が戻り、又亡くなられた方々が7名もおりました。

佇む校舎を巣立つて半世紀の長さの時間に連絡を取りあうことの難しさを痛感させられました。長すぎたクラス会開催に反省を致しております。

出席できなかった方々はまだ現役で働いている方、又は体調を壊し入院されている方もいました。でも、次回のクラス会には必ず参加するという強いメッセージの返信で一安心を致しております。

結局都合がつかない方々が多く、出席者は7名と少ない人数となりましたが、出席した方々は卒業以来の再開で、お互い髪が薄くなり又、白髪も多くなり、学生時代とはさま変わりしています。やはり昔の面影が残るお互い名前やあだ名で呼び合っていました。

出席者は函館から大日向、木下、沢田、木村、札幌からは千葉、千歳からは山田、室蘭から坂口の7名の出席になりました。会は大日向前同窓会長の乾杯で開催され

ました。

パソコンとプロジェクターを持ち込んで学生時代の実験室風景や遠足、文化祭、修学旅行、卒業式などの写真を映し出しました。半世紀もたっているのに学生時代の事がらを鮮明に覚えていて、当時のエピソードの話題で盛り上がり、泊まりのクラス会でしたので、部屋に戻っても話は尽きず、結局朝方まで語り合っていました。

次の日お互い別れを惜しむ寂しさもありましたが、次回は77才の喜寿の時に再開することを約束し、お互い健康管理に気を付けて100歳まで元気で過ごせることを励ましあいながら散会となりました。

（S43冶金科卒 木村義雄／記）

昭和43年冶金科同窓会





## 活躍する同窓生



北海道電気管理技術者協会  
函館支部  
和田 正 敬 支部長

以前61号で電気設備の健康診断と題し同窓生が活躍している（一般社団法人）北海道電気管理技術者協会函館支部について紹介しましたが、今回はその後、平成27年に協会に入会した、和田正敬支部長（昭和45年電子科卒）を訪問し、その後の活躍されている姿を紹介させて頂きました。

業務内容は、ビル・工場など高圧受電（6kV）の事業主が電気設備の点検業務を義務づけられており、1ヶ月毎の定期点検と年次点検が主な仕事で、内容は漏電調査や機器や配線等の劣化診断を実施管理するのが主な内容です。

現在は、合計41件のお客様を対象に仕事をされているそうです。特に電気設備や配線の不良で停電などが発生しない様お客様に信頼できるよう注意しているそうです。

近年は、電源の多様化もあり再生可能エネルギー（風力発電・太陽光発電）関係のお客様も増えているようです。

また、平成27年4月～30年3月までの3年間本校校舎の電気主任技術者をされておりました。（今年は他社に変更とのこと残念！）

協会には12名の同窓生がおり、活躍されているとのこと。特異な所では、本校土木科を卒業し、独学で電気主任技術者の資格を取得し、仕事をされている方もおられるとのこと。在校生におかれましては、将来的に資格の取得は大切なことだと思いますので頑張ってください。また、和田氏は在学中陸上部に所属し、活躍されたとのこと、特に2・3年生時には道大会で優勝し、毎年12月に実施する全国高校駅伝大会に出場したそうです。特に3年生の時には、全国の強豪が揃う花の1区を力走しチーム成績は、2年は34位、3年は35位と活躍したそうです。現在はTVで生中継されますが、当時はラジオ中継しかなかったそうです。（当時の陸上部は強かったですね!!）

（S42電気科卒 石田 勉/記）



## 定時制

### 宿泊研修

今年度の宿泊研修につきましては、感染症の影響で6月の予定を11月に延期し、また、一部見学施設も変更しました。しかし、そのような中でも、生徒の皆さんや保護者の方々の協力で、宿泊研修を実施することが出来ました。

11月26日木曜日の朝、2年電子機械科9名の生徒も全員が元気に集合し、貸し切りバスに乗り白老町を目指しました。一つ目の見学施設は民族共生象徴空間「ウポポイ」でした。ポトロ湖の畔に大きな施設が建ち並び壮観でした。生徒た



ちは博物館内を思い思いに見て回り、アイヌの伝統芸能などを見学しました。

その後は、室蘭市の宿舎に入りました。食事や入浴を済ませた後に研修を行い、お互いの絆を深めました。

翌日は宿舎の体育館でスポーツ大会を実施、生徒達のハッスルプレーは見事でした。

宿舎を出発した後は、室蘭市の青少年科学館で、様々な実験器具を用いた科学の不思議な世界を体験し、研修を深め、学校に戻りました。

二日間の研修は子どもたちにとって有意義な時間であるとともに、大きな成長につながるものと確信しています。このような貴重な体験の機会を与えてくださり、保護者の皆様には心より感謝申し上げます。

## 定時制

### 函館山夜間遠足

9月18日、今年度中止となった学校祭や全校生徒激励会の代替行事として、函館山夜間遠足を実施しました。

新型コロナウイルスの影響で学校行事がごとく中止となり、例年とは異なる学校生活を強いられている生徒達のために、コロナ対策を踏まえつつも何か思い出になる行事ができないかと、生徒会やPTAを中心に練りに練って打ち出した、まさに「今、目の前にいる生徒達のために作り上げた」行事でした。

当日の朝は小雨模様で実施が危ぶまれ





ましたが、昼過ぎには徐々に秋晴れが広がり始め、爽やかな風の中、無事全員が登頂することができました。12名の保護者の方々にもご参加をいただき、生徒と一緒に登山をした後、PTAからの差し入れであるハンバーガーを参加者全員へ配っていただきました。生徒達にとって、自らの足で登り全校生徒で見た夜景、ハンバーガーの味は、忘れがたい一生の思い出になったに違いありません。

行事の実現のために、事前の打ち合わせや準備、当日の段取りに至るまで惜しみなくご尽力いただきました中野PTA会長様をはじめ役員の皆様、保護者の皆様には感謝してもしきれません。コロナ禍の中にあつて、函工定時の温かいチームパワーを感じることができた行事でした。

令和2年度(※一部令和元年度含む)

## 部活動大会結果報告 [全日制]

※全道大会以上の結果を掲載しています。

### ■硬式野球部

◎第72回秋季北海道高等学校野球大会(令和元年10月6～12日)

▷2回戦 函工 0-4 札幌日大

◎令和2年夏季北海道高等学校野球大会 南北海道大会

(令和2年8月3～9日) ▷1回戦 函工 1-10 北海

### ■軟式野球部

◎第31回秋季北海道高等学校軟式野球大会(とましんスタジアム)

(令和2年9月26～28日)

▷1回戦 函工/函館ラ・サール連合 1-3 北海道科学大学高校

### ■テニス部

◎第42回北海道高等学校秋季テニス大会 兼 第43回全国選抜高校テニス大会北海道地区大会(令和2年10月14・15日)

◇男子団体戦 ▷1回戦 函工 1-4 札幌新川

◇男子ダブルス ▷2回戦 佐藤直(子機2)・岩船(電気2)

### ■ソフトテニス部

◎第49回北海道高校新人ソフトテニス選手権大会(令和元年9月14・15日)

◇男子ダブルス ▷2回戦 木下勝哉(電気2)・富樫立輝(子機2)

◇男子シングルス▷3回戦 木下勝哉(電気2)

▷2回戦 長内秀斗(子機2)／岩谷隼希(電気1)

◎令和元年度 北海道高等学校新人戦ソフトテニス選手権大会

(令和2年1月13～16日) ◇男子団体戦▷1回戦 函工 1-2 旭川東

◎第46回南北北海道高等学校選抜インドアソフトテニス大会(令和2年1月26日)

◇男子ダブルス ☆5位

長内秀斗(子機2)・神林海音(環土2)・岩谷隼希(電気1)・菅原陽(子機1)

▷2回戦 木下勝哉(電気2)・富樫立輝(子機2)・山口航太(環土1)・山村

(函館水産)▷1回戦 太田樹宏(工化1)・坂下新太(環土1)

◇女子ダブルス▷2回戦 竹原美久(工化1)・丸山(函館桜北)

### ■サッカー部

◎第99回全国高校サッカー選手権大会 北海道大会(令和2年10月17～

19日、10月24～25日) ▷1回戦 函工 0-4 東海大札幌

### ■バドミントン部

◎第52回北海道高等学校新人バドミントン大会 兼 第48回全国高等学校選抜バドミントン大会北海道予選会(令和2年1月15～18日)

◇男子団体▷2回戦 函工 3-1 小樽未来創造

▷3回戦 函工 3-1 苫小牧東

▷準決勝 函工 0-3 北海 ☆南北海道3位

◇女子団体▷1回戦 函工 0-3 札幌北斗

### ■バレーボール部

◎第15回北海道高等学校バレーボール新人大会

(令和2年1月31～2月2日) ▷1回戦 函工 1-2 札幌旭丘

### ■ハンドボール部

◎第43回全国高等学校ハンドボール選抜大会北海道予選会

(令和2年1月27～30日)

◇男子▷1回戦 函工 29-20 帯広柏葉

▷2回戦 函工 25-27 札幌啓成

◇女子▷1回戦 函工 22-21 帯広三条

▷2回戦 函工 10-21 釧路江南

### ■ラグビー部

◎第73回北海道高等学校ラグビーフットボール南北選手権大会

兼 第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会北海道予選会

(令和2年10月14～19日) ▷1回戦 函工 34-29 函大有斗

▷準決勝 函工 0-89 函館ラ・サール 準決勝敗退

### ■陸上部

◎第36回北海道高校新人陸上競技大会(室蘭市)(令和2年9月23～25日)

◇男子▷100m 山田慎之助(情報2)11.84▷1,500m 中野大輝(子機1)

4,24.33▷5,000m 南澤建汰(建築2)18.50.30▷110mH 小幡拓海(情報2)

16.47▷400mH 中村匠(建築2)58.8☆7位▷5,000mW 長田大和(環土1)

27.38.73☆7位▷4×100R 野上雷輝(環土2)・井倉・山田・岩本▷走幅跳

井倉大翔(子機1)7m20☆2位▷三段跳 遠藤有理(工化2)11m86▷砲丸投

糸屋奏太(環土2)6m75▷円盤投 岡田治樹(工化2)21m68▷ハンマー投

渡辺啓護(子機2)33m35☆5位▷やり投 岩本輝斗(工化2)36m86

◇女子▷400m 中島一葉(建築2)1.06.07▷100mH 佐藤乃愛(建築2)

17.11、三浦そよか(環土2)17.97▷400mH 阿部桃子(情報2)1.11.27▷や

り投 鶴田真桜(情報2)32m75☆7位

◎全国高校陸上競技大会2020(広島市)(令和2年10月23～25日)

▷走幅跳 佐藤三太(子機3)7m39☆4位、秋山桜花(建築3)5m04

◎2020北海道高校駅伝競走大会(北見市)(令和2年10月10日)

☆総合15位 2時間27分53秒

高谷裕士、糸屋奏太、川村悠馬、中野大輝、小幡拓海、村下龍芽、南澤建汰

### ■空手道部

◎第38回北海道高等学校空手道選抜大会 兼 第40回全国高等学校空手道選抜大会北海道予選会(令和3年1月13～15日)

◇男子個人組手▷1回戦敗退 -55kg級 種市青央(子機2)、

-61kg級 吉田玲央人(電気2)、-68kg級 野川龍聖(工化2)

▷2回戦敗退 -61kg級 佐田紘崇(電情1)

◇男子個人形▷予選敗退 種市青央(子機2)／野川龍聖(工化2)

川口輝羅(建築1)／佐田紘崇(電情1)

◇男子団体組手▷1回戦 函工 2-3 大摩

### ■美術部

◎北海道高等学校文化連盟第53回高等学校美術展・研究大会(十勝大会)

特別企画 令和2年度全道高等学校Web美術展(令和2年11月3～24日)

▷出品 白石彩葉(情報3)

### ■計算機器部

◎第39回北海道高等学校工業クラブ大会(令和3年1月21～22日)

◇団体戦

### ■マイコン部

◎第7回U-16プログラミングコンテスト 北海道大会(令和2年11月3日)

菱川蓮也(電情1) 2回戦敗退

### ■軽音楽部

◎第3回 We are Sneaker Ages 北海道 動画予選会

(令和2年10月16日、11月2日) ◇グランプリ大会(全道大会)進出

※特別編成選抜バンド…「スターマーカー／KANA-BOON」

Vo國井(環土2)、Vo奥野(情報2)、Gt片石(環土2)、Gt山本碧(情報2)、

Ba疋田(工化2)、Key猪股(建築3)、Key白木(建築2)、Dr片桐奏(子機3)

◎全国高等学校選抜ロックフェス(令和2年11月17日、12月1日) ☆入選

※日本Japanese.JAPAN…「最低／オリジナル」 Vo石見(工化2)、

Gt片石(環土2)、Gt國井(環土2)、Ba疋田(工化2)、Dr小澤(電気2)

◎道高軽音連 全道高等学校軽音楽新人大会(令和2年12月27日)

※感染症対策の為、映像収録をYouTubeにて動画配信。 ☆出場

※日本Japanese.JAPAN…「最低／オリジナル」 Vo石見(工化2)、

Gt片石(環土2)、Gt國井(環土2)、Ba疋田(工化2)、Dr小澤(電気2)

### ■図書局

◎北海道高等学校文化連盟図書専門部図書館報コンクール

(令和2年10月20日) ☆優良賞

◎北海道高等学校文化連盟第40回北海道高校生読書体験記コンクール

(令和2年11月1日) 中西伶旺(環土2) ☆優秀賞

◎第40回全国高校生読書体験記コンクール(令和3年1月25日)

中西伶旺(環土2) ☆入選

### ■新聞局

◎令和2年度全道高等学校新聞コンクール(令和2年11月15日)

◇手書き・ワープロ部門 ☆優秀賞

◎第25回全国高校新聞年間紙面審査賞(令和2年12月17日) ☆激励賞

### ■ものづくり愛好会

◎DJ1ロボマスター高校生アイデアコンテスト(令和2年12月28日)

☆優良賞 藤原拓海(子機2)／村上聖人(子機2)／近藤大空(子機1)

※工業クラブ部門

◎第1回オンライン旋盤大会(令和2年9月11日) ※電子機械科部門

☆5位 中山陸人(子機3)／☆9位 遠藤健介(子機2)



令和3年度

# 函工同窓会

## 総会・懇親会のご案内

日時

令和3年6月4日(金)

午後6時～(懇親会は6時45分～) 開催予定

場所

マリエール函館

会費

5,000円(新同窓生・女性会員3,000円)

予定

担当/工芸・インテリア科会

※新型コロナウイルスの感染状況等により中止となる場合も考えられます。  
決定次第、学校ホームページや新聞広告等に掲載致しますのでご確認ください。

### 令和2年度 進路状況

令和3年1月26日現在

	就 職					進 学			
	管内	道内	公務員	道外	合計	大学	短大高専	専門	合計
希望数	43	36	10	44	133	40	5	46	91
内定数	43	36	9	44	132	38	5	46	89
内定率	100%	100%	90%	100%	99%	95%	100%	100%	98%

### 令和2年度 進路状況〔定時制課程〕

令和3年2月10日現在

	就 職					進 学				未定	合計
	管内	道内	公務員	道外	小計	大学	短大・高専	専門	小計		
希望数	6	0	1	0	7	0	0	3	3		11
内定数	5	0	1	0	6	0	0	3	3	1	9
内定率	83.3%	-	100%	-	85.7%	-	-	100%	100%		81.8%

【定時制】  
家庭 松浦 陽(新採用)  
機械 長谷川 雅(期限付)  
養護 岡田 朝子(大野農業高校)  
教頭 盛田 典男(釧路工業高校 定時制)

【全日制】  
機械 佐藤 靖尚(滝川工業高校)  
教頭 廣部 昌男(札幌国際情報高校)  
国語 橋本 孝夫(八雲高校)  
地歴 小柳 貴広(函館水産高校)  
事務 小阪 芳徳(士別翔雲高校)

転入者

養護 佐藤 珠生(退職)  
機械 向井 聡(退職)  
体育 地主 勇人(中部高校 定時制)  
電気 島谷 悠花(札幌工業高校 全日制)

【定時制】  
機械 阿部 照輝(札幌工業高校 全日制)  
教頭 山口 勉(栗山高校)

事務 木村 晃彦(大樹高校)  
国語 内藤 正(退職)  
国語 竹田 昭彦(退職)  
機械 伊東 勲(退職)  
家庭 金澤 久子(函館水産高校 全日制)

【全日制】  
地歴 前川 顕(旭川工業高校 全日制)  
地歴 両角 昌秀(七飯高校)  
情報 花田 健(旭川工業高校 全日制)

転出者

## 職員異動について

### 函工同窓会 支部所在地

関東支部/ ☎03-3831-4181  
〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-3 船舶印刷(株)内  
中部支部/ ☎0568-82-9290  
〒463-0071 愛知県春日井市鳥居松町3-121 プリンスハイツ509号  
宮城支部/ ☎022-289-6559  
〒984-0835 宮城県仙台市若林区今泉2-3-38  
札幌支部/ ☎011-899-9091  
〒004-0002 札幌市厚別区厚別東2条3丁目11-3  
旭川支部/ ☎0166-24-1558  
〒070-0002 旭川市新富2-2-4-18 ドルチェB-2D

帯広支部/ ☎0155-35-2903  
〒080-0023 帯広市西13条南3丁目2-15  
釧路支部/ ☎0154-24-4041  
〒085-0011 釧路市末広6丁目4  
江差支部/ ☎0139-52-4729  
〒043-0033 桧山郡江差町字豊川町219  
松前支部/ ☎0139-42-2201  
〒049-1506 松前郡松前町字唐津83-1 ハッピー・イトウ  
木古内支部/ ☎01392-2-3131(内133)  
〒049-0422 上磯郡木古内町字本町218  
八雲支部/ ☎0137-62-2877  
〒049-3102 二海郡八雲町東町258



上記QRコードを読み取りますと  
函工同窓会のページへアクセス  
します。ぜひご覧ください。

同窓会HP  
[http://www.kanko.hokkaido-c.ed.jp/?page\\_id=381](http://www.kanko.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=381)

函工クイズの答え ①B ②C

表紙イラスト・挿絵  
上田 昌美(S35建築科卒)

(H3土木科卒 薩来俊彦/記)

昨年度12月の第2回理事会・常任理事会で話し合われ、今年度から同窓会報「柏ヶ丘」は内容が縮小されることになりました。縮小と言っても形が大きく変わるため、編集委員会はこれまでよりも多く8回も開催し、ゼロから話し合い等が行われました。(昨年は5回)

ページ数が制限される中、委員の皆で残すものや削るものを考えたり、アイデアを出し合いなんとか完成までこぎつけました。手探り状態でもあったので、次号以降、更に良いものに出来ればと思っています。

## 編集後記

同窓会の運営は新同窓会員の皆さんの永年会費と援助金によって成り立っております。「柏ヶ丘」に添付しております郵便振替用紙で一口1000円の援助金にご協力をいただいた方には次年に発行される同窓会報を送らせていただきます。本会の諸事業を維持、継続するために今後とも皆様のご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

## 援助金のお願ひ